



留学生
滞在記

My Life in Tokushima

徳島大学での 自分を知る日々

理工学部 理工学科 4年
陳 曦 (ちんぎ) [中国]

中国の四川省出身の陳曦と申します。子どもの頃からアニメなど日本の文化が好きで、日本の学生生活を体験したいという思いもあり、留学を決めました。

2015年6月に高校を卒業し、その後10月に日本へ来ました。東京の日本語学校で1年3ヶ月勉強

強したあと、日本留学試験を受けて、建築だけではなく土木も勉強できる徳島大学の理工学部に入學しました。初めて徳島に来たとき、東京と違い、穏やかで生活しやすい街であることに魅力を感じました。

大学一年のときから学科の建築サークルに所属しており、コンペティションなどのイベントに参加して、やりがいや達成感を感じています。ダンス部に入学したとき、最初は周りのメンバーとうまく話ができず、チームに馴染めませんでした。合宿などの活動に参加してメンバーとの距離を縮めていくことで、ダンスや曲作りで見が採用され、チームの一員として活躍することができるようになりました。また、インターナショナルオフィスのイベントにも参加し、様々な国から来た留学生と日本文化を体験することができました。新しいことにチャレンジすることで、大学生活の楽しさを満喫しています。

大学に入る前は建築分野に興味がありました。徳島大学での授業や日本での生活を通して、中国における環境問題に関心が向くようになりました。それで、生態系管理研究室に入ることになり、卒業論文では地元である成都市の都市



研究室のみなさんと一緒に(筆者:右から2人目)



旅行in東京ディズニーランド



1年生の時の所属コースの女子会(筆者:左端)

化及び土地利用の変化と気象変化の関係について研究しています。具体的には、GISという地理情報システムを使った植生・土地利用の変化の解析と把握を行っています。そして、成都市と環境先進国といわれる日本の都市とを比較し、現状及び将来の発展について検討していきたいと考えています。

り、学業も忙しく、家族にも会えなくて寂しい気持ちになるときもありました。そんなとき、大学の友人と話したり遊んだりして元気をもらい、周りの人たちの存在の大切さを学びました。また、徳島大学から奨学金をいただき生活を維持することができ、感謝しています。

卒業後は、日本の職場で経験を積みたいと思っています。そして、将来は徳島大学での留学経験を活かし、さらに資格を取って、自分をもっと成長させて、社会に貢献したいと思っています。